

地域教育力ねっと通信！

平成17年（2005年）3月 大野中学校区教育力ネットワーク発行

大野中ネットの1年間を振り返って・・・

大野中学校区教育力ネットワーク協議会 会長 森正明

昨年4月に大野中学校区教育力ネットワークの会長を仰せつかって以来、出来る限り“子どもたちのために”との思いで役員の皆様とともに力を合わせて参りました。ご関係の皆さまにあらためて感謝の意を表すとともにお礼を申し上げます。

昨年来、学校関係者を震撼させるようなさまざまな事件が起こっており、あらためて学校・家庭・地域の連携が問われている中、15の中学校、28の小学校を抱える平塚市にあって、豊田小・真土小・松が丘小・大原小の4つの小学校区で構成されます大野中学校区は、“元気があふれ活力みなぎる学区”だと確信しております。

もちろん、こうした学区と誇れるのも、大野中学校の野島校長先生を始めとするエリア内の学校関係者ならびに多くの地域の皆さまの“子どもたちのために”との強い思いの結集があったからだと思っております。

この1年間、夏休みの夜間パトロール、江ノ島から大野中までのナイトハイク・湘南ベルマーレのサッカー観戦と観戦後のスタンドを掃除するボランティア活動、さらには飯塚さん・磯崎さん両名の少年補導員を招いての「子どもたちの健全育成のために」と銘打った講演会の開催など、様々な取り組みによって大野中学校区の子どもたちが、さらに元気あふれる子どもに大きく成長するための一助となる活動ができたのではないかと考えております。

今後、さらに多くの皆さまの大野中学校区教育力ネットワークへの参画を期待し、そうすることで子どもたちの育まれる地域社会が一層素晴らしいものになることを願ってやみません。1年間お世話になり、本当にありがとうございました。



大人も頑張らなくてはいけません！

大野中学校長 野島健二

とにかく「今の子どもは・・・」といわれがち。

少子化の時代、子どもたちの状況は、兄弟姉妹は少なく、家庭や地域社会での人とのかかわりも少ないといわれています。また、野山で遊んだりする自然体験、家で親の仕事を手伝うなどの社会体験、さらには地域の行事などに積極的に参加し奉仕体験をするなどが不足しているともいわれています。

確かに、昔は今とは違い、自然環境や社会の環境などが子どもたちにとってはいろいろなことが体験しやすかったかもしれません。

しかし、それでは、今の子どもたちが何も体験できていないかということ、決してそうではないと思います。多くの小学生や中学生は熱心にいろいろなことにチャレンジしているし、また、成果も挙げていることも事実だと思います。

では、今のままでいいかということになりますが、未来を背負う子どもたちには、いろいろと違った、しかもこの時期にしかできない貴重な体験をたくさんしてほしいと、我々大人は思っています。

ネットワークで企画、実施している日常とは違った体験の場であるナイトハイクやサッカー観戦は、子どもたちの心に強い印象を与えていることと思います。また、子どもたちを温かく見守るパトロールや講演会での研修も子どもたちの環境づくりに役立っていることと思います。

これからも、子どもたちのために、大人がどこまで頑張れるかが大切なことではないかと思えます。

真土教育力ネットと地域

真土教育力ネット 会長 石井康仁

真土地区の教育力ネットは、連合自治会、小学校、中学校、PTA、育成会、防犯協会、安全協会、補導員、民生児童委員、社会福祉協議会、体育振興会、青少年指導員等の代表者を中心に現在約40名で構成されている連絡協議会で青少年健全育成の推進のため、地域の子どもたちを見守っています。年間6回程度の会議を通して 諸団体の活動を知ることができますが、情報・意見交換を毎回していることで地域内の他の団体との協力関係の構築や新しい事業への地域としての取組みもスムーズに整える一躍を担っています。また、各団体が独自に実施する事業に対する協力要請の場にもなっており、ひとつの事業をみんなで支える雰囲気があります。例えば、子ども大会、ナイトハイク、パトロール、違法看板撤去活動等への参加・協力依頼等青少年に関わる活動にネットとしても協力しています。 夏休み期間には、

「愛のパトロール」を週3回、6週間にわたり200名を超える参加協力を得て実施しました。また、小Pから提案された自転車に防犯プレートを取付けてパトロールする活動もスタートし、防犯プレート掲示協力者である「こどもサポーター」としての登録者も約70名となりました。今後もこの活動を広めて行く予定です。

本年度真土地区では、桜祭り、真土神社祭礼、大塚山公園祭り、盆踊り大会、地区レク、社明事業（今回のテーマ：真土から発信 元気な平塚！）、防犯訓練等の事業が実施され、各事業とも盛大に実施されました。大きな事業には実行委員会発足しますが、連合自治会が中心となり真土教育力ネットの関係団体も協力し重要な役割を分担しています。



自転車につける防犯プレート

松が丘地区の活動について

松が丘地区青少年指導員協議会 会長 高倉謙一

松が丘地区には、現在ネット組織はありませんが、青少年指導員を中心に、自治会の力強いバックアップをいただきながら、子ども大会・夜間パトロール・各種こどもに関わる事業への協力等の事業を実施しています。来年度は、バックアップ体制を生かして是非、教育力ネットの組織をつくり、より一層の活動ができればと考えています。

現在は、地区内の子どもサポート看板が老朽化しているため、全て架け替える作業を進めています。（今までのものより、目立つデザインとしました。） 地区内の皆様、「子どもサポート」事業にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



松が丘地区サポート看板

事務局をつとめて・・・

今年度（平成16年度）、大野ネットの事務局を1年間務めさせていただきました。

拙い事務局であったと自省しておりますが、各種事業において多くの方々のご理解・ご協力をいただきましたことに厚く感謝申し上げます。

来年度（平成17年度）は、豊田地区さんに事務局をバトンタッチすることとなりますが、改めて皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

事務局 高倉謙一

<平成16年度 事務局連絡先>

eメール: ken.t@mc.scn-net.ne.jp

大野中学校区教育力ネットワーク協議会とは・・・ネットの紹介！！

1. 活動の目的

大野中学校区の青少年健全育成を目的として、様々な事業を実施しています。

2. 大野中ネットの構成・組織

①地区構成

大野中学校区教育力ネットワーク協議会は、大野中学校の学区である、豊田地区・真土地区・松が丘地区と大原地区の一部で構成されています。

②役員構成

上記の地区の各教育力ネットを中心に、自治会・PTA・各小・中学校の校長先生及び教職員をはじめ、交通安全協会・子ども会（育成会）・社会福祉協議会・主任児童委員・少年補導員・青少年指導員・防犯協会・保護司・ガールスカウト・ボーイスカウトなど、子どもに関わる諸団体の代表者が役員となっています。

③事務局

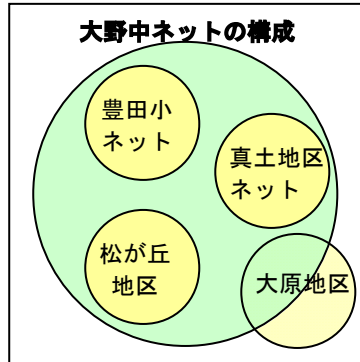
ネットの事務局は、豊田地区・真土地区・松が丘地区が毎年交代で事務局を務めています。各地区とも、青少年指導員がネット事務局を務めています。

今年度（平成16年度）は、松が丘地区が大野中ネットの事務局を務めました。

なお、会長は事務局を務める地区が推薦することになっています。

④活動費用

平塚市から交付される補助金と各地区と大野中学校PTAからの負担金を活動費用としています。



3. 今年度の大野中ネットの事業紹介

①本部会・運営会議の開催

年間5回程度の役員会を開催し、予算・決算・事業計画・青少年に関する意見交換を行っています。

②夏休みの夜間パトロール

夏休みの間に4日間、役員の皆様と各地区の夜間パトロールを行い、各地区の公園・神社・などを中心に、夜間に遊んでいる青少年に声かけを行いました。

③ナイトハイクの開催

毎年、真土ネットが開催している、江ノ島から歩いて帰ってくるナイトハイクを、今年は、大野中ネットの共催事業として開催させていただきました。

夏の猛暑が一休みした8月21日（土）の夜から8月22日（日）の朝にかけて中学生約80名（小学生2名を含む）が参加し、3つのチェックポイントでのゲームを行いながら、江ノ島からの約20キロの道程を歩きました。

この事業は、長年開催されていますが、全員完歩できたのは今年度が初めてではないかとのことでした。

ナイトハイクの開催にあたっては、真土地区の皆さんが中心となり、約90名の大人のお手伝いをいただきました。皆様、ありがとうございました。



チェックポイントでのゲームの様子

④湘南ベルマーレ サッカー観戦と観戦後のゴミ拾い

9月27日（月）、小雨が降る生憎の天気の中、平塚競技場で開催された湘南ベルマーレ対ヴァンフォーレ甲府の試合を観戦しました。（参加者：付き添いの大人含む約120名）

残念ながら、試合結果は1対1の引き分けでしたが、試合終了後、スタンドのゴミ拾いをして解散しました。

また、この試合では当会の森会長の尽力で、ボールボーイとして大野中サッカー部、センターサークルシートボーイとして陸上部の部員の皆さんが試合の運営に参加することができました。

なお、少年補導員の飯塚さんからたくさんのチケットを提供いただきました。ありがとうございました。



ボールボーイを務める大野中サッカー部員



センターサークルシートボーイを務める大野中陸上部員

⑤講演会「子どもたちの健全育成のために・・・」の開催

1月27日（木）、大野中学校図書室において、少年補導員の飯塚紀一さん・磯崎ひとみさんを講師にお招きし、講演会を開催しました。（参加者：75名）

講演会では、「子どもの居場所を確保してあげること（子どもを追い詰めない）」「子どもの言い分をよく聞いてあげること」「普段からの声かけが大事」など、大人が子どもに接するときに注意すべき点について、実例をあげながらお話をいただきました。

飯塚さん、磯崎さん、ありがとうございました。

豊田・真土・松が丘の各地区の事業紹介

ネットの今後の結束を期待して一言

豊田小教育力ネット 会長 樋口武之

寒い冬も終わりになり、南国福岡県生まれ人間には待ち遠しい春がまいります。

此の平塚の地には、天災がなく普通の年だったと思いますが、この国内を始めに世界中に台風による風水害、新潟中越地震による故郷の倒壊、南の島の津波による大きな人命の犠牲者の方に、この原稿を書く前にお悔やみ申し上げます。

我が豊田小ネットでは、他地区と似た活動になっていますが、以下に簡単に列記します。

1. 15年12月に自治会・PTA・ネットの皆様により小学校の室内ペンキ塗り
2. 5月に豊田小運動場にて、第36回豊田地区子ども大会を開催
3. 春・秋の街ぐるみ大掃除の時、各自治会館付近の道路のゴミ拾い（育成会）
4. 7月、第5回豊田ナイトウォークラリーを開催（参加者：保護者を含む160名、約2時間、豊田の歴史にふれる）
5. 文化事業として市内落語愛好家を招いての演劇会（豊田公民館）
6. 12月、自治会、防犯部による年末パトロール
7. 1月、新春豊田駅伝大会・どんと焼き
8. 3月、公民館祭り

上記のとおり、恒例の事業として定着しました。関係者の皆様、ご苦労様でした。

今後とも、この会が未来を背負って巣立つ若者に多少でも役に立てれば、大変嬉しく思います。此の地に根付いたネットでは、みんなの力になるために、これからも諸行事を企画して、明るい社会を目指して子どもたちと共に頑張ります。